内閣総理大臣杯争奪
第４２回日本車椅子バスケットボール選手権大会
個人トータル表

1988年5月17日　11時20分開始

１回戦　東京体育館　Ａ － 1

◎ **千葉ホークス**（関　東）　**70**

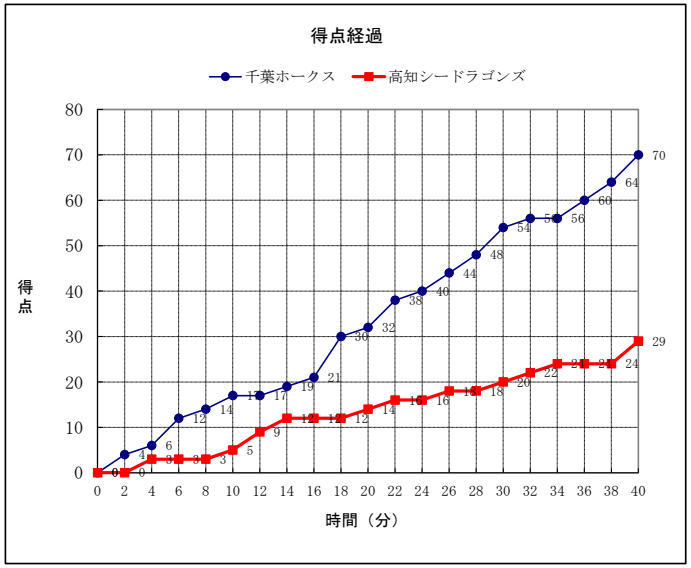
17	1ｸｫｰﾀｰ	5
15	2ｸｫｰﾀｰ	9
22	3ｸｫｰﾀｰ	6
16	4ｸｫｰﾀｰ	9

29　**高知シードラゴンズ**（四　国）

番号	氏　名（持ち点）	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則
4	清水　健悟（2.5）	－	－	－	－	－	－	－
5	宇埜　雄太（1）	0	0	0	0	－	－	1
6	中島　憲吾（2）	0	0	0	0	－	－	0
7	田中　恒一（3）	0	0	0	0	－	－	1
8	坂井　大（2）	－	－	－	－	－	－	－
＊ 9	植木　隆人（2）	10	0	5	0	－	－	2
＊ 10	千脇　貢（2.5）	6	0	3	0	－	－	2
11	太田　空（3）	6	0	2	2	－	－	1
12	久世　征士（2）	2	0	1	0	－	－	0
＊ 13	下村　浩之（1）	2	0	1	0	－	－	2
14	山口　健二（4.5）	18	0	9	0	－	－	2
＊ 15	土子　大輔（4）	20	1	8	1	－	－	0
＊ 16	伊東　容臣（4）	6	0	2	2	－	－	0
ＨＣ	杉山　浩							
ＡＣ	猪田　博敏							
ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	左東　摩子							
ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	鈴木　希美代							
ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	篠田　愛							
ﾄﾚｰﾅｰ	眞田　崇							
合　計		70	1	31	5	0	0	11

番号	氏　名（持ち点）	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則
6	中澤　英樹（2）	0	0	0	0	－	－	0
＊ 7	斉藤　政和（2）	0	0	0	0	－	－	0
＊ 8	永島　秀徳（4.5）	4	0	2	0	－	－	2
＊ 10	片岡　優世（1.5）	9	3	0	0	－	－	3
＊ 11	池　透暢（2.5）	14	0	7	0	－	－	3
13	有瀬　智寛（2）	0	0	0	0	－	－	0
＊ 14	鳴瀧　憲高（1）	2	0	1	0	－	－	2
ＨＣ	木村　英美							
ＡＣ	立川　誠							
ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	木村　優美							
ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	中本　由香理							
ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	田中　博史							
ﾄﾚｰﾅｰ	廣戸　優尊							
合　計		29	3	10	0	0	0	10

主審：　加藤昌樹
副審：　福井公平
副審：　沖島理恵子



〔 戦　評 〕

1Q　開始、千葉のボールから始まり、千葉の15番土子のシュートが決まり先制する。千葉の固いゾーンディフェンスで高知のシュートミスを誘い、リバウンドボールを9番植木の速攻につなげ、点数を広げ、17-5で千葉リードで終了。

２Q　高知の10番片岡の3ポイントシュートと11番の池のミドルシュートで反撃して、3点差まで追いつくがその後、千葉ホークスのタイムアウトによるディフェンスの修正と、メンバー交代による高さを活かした攻撃で、食い下がる高知を離し、32-14で千葉リードで終了。

３Q　後半戦の始まりから、千葉はリバウンドからの速攻、そして、千葉１4番山口、10番千脇のセンタープレーで加点し、高知をひき離す。高知も10番片岡と11番池のシュートで得点を重ねるが、千葉のディフェンスを崩せず点差を広げられ、52-20千葉リードで終了。

４Q 千葉のシュートで始まる。その後も千葉のペースで進み、5分過ぎたところでメンバーを交代しゲームを進める。高知もシュートを放つがゴールに嫌われ得点に結びつかずそのままゲーム終了。70-29で千葉ホークスが勝利した。

両チームとも、激しいディフェンス、スピードあるプレーの連続で、得点以上に見ごたえのあるゲームだった。両チームの検討を称えたい。

（担当：高橋（俊）／山本／高橋）